



1 1月7日（水）に「ぽぽろスクエア」の千住真理子先生を講師としてお招きし、性教育研修会を開催しました。本年度は、「大人になっていく子どもたち」と題して、講演いただいた後、グループワークを交えて研修を行い、その中からでた質問について、千住先生からアドバイスをいただきました。

◆◆ぽぽろスクエア 千住真理子先生の紹介◆◆

障がいのある子どもたちが、特別支援学校高等部卒業後の進路は、一般就労あるいは作業所等に進むことが多いです。それとは別に仲間がいて、わいわい一緒に学ぶことができる、生活体験をより豊かに積みゆっくりと自分発見をする、楽しく青春する時間がある、そんな「学びの場」がぽぽろスクエア（高等部卒業後の学びの場）です。千住先生は、堺市の中学校で音楽・特別支援学級を受け持ち、特別支援学校にも勤務されました。教職最後の3年間は、市民病院内の院内学級で勤務され、重度心身障がいの子とも関わられてきました。退職後にぽぽろスクエアの立ち上げから関わり、性教育と進路の授業を担当されています。

◆◆保護者向け研修会内容◆◆ 「生活の中でできる性教育」

- 1 思春期はみんなにやって来る！⇒3つの出会いがある
 - (1) 大人のからだとの出会い
 - (2) もう一人の自分との出会い
 - ・保護者を払いのけるしぐさ（保護者への反抗的な態度）は、「自分くずし」をしている→自分づくりをしている
 - ・保護者に寄ってきたり、離れたりしながら大人になっていく→反抗させてほしいし、失敗もさせてあげてほしい
※失敗しても平気であることを経験させてほしい
 - (3) 好きな人との出会い
- 2 グループでの話し合いからでた質問

Q. 異性の子どもとの入浴について、いつまで一緒に入ってもよいか？

A. 背が一緒になったり、性毛が生えてきたら着衣での介助を。また、一人で入れることを喜んであげてください。兄弟の入浴も、同姓で入る方がよいです。放課後デイサービスの、入浴サービスを受けることも一つの方法です。



◆◆教職員向け研修会内容◆◆「学校で教えてほしい性教育」

1 性教育のいろいろ（具体例）

(1) 男の子の体

ペニスの働きには3つある

- ① おしっこを出す
- ② 精子を出す

（夢精）→おねしょと間違い劣等感をもたないように

- ③ 触って気持ちいいところ

(2) 女の子の体

性器には3つの道がある

- ① おしっこの道
- ② 赤ちゃんが生まれる道
- ③ 大便をする道

(3) おつきあい

告白したとき「はい」と言われるまで、頑張ると答えた人もいる
断られるということも知っておくことが大切

(4) ふれあいの保障

かごめかごめ、花いちもんめ、なべなべそーこぬけ、サイコロゲーム等、触れ合ってもよい時間を設けることで、そこから学ぶことも大きい



2 グループでの話し合いから出てきた質問

Q. 女性の先生を選んで触れる場合、どのように対応したらよいか？

「ダメ、違うことしよう。」以外に何ができるのか？

A. その背景を知ることがまず大切です。

- ・家での触れ合いはどうか。
- ・「嫌」「やめて」という関わりを喜んでいないかな。（誤学習）
触ろうとする手を、「握手をしよう」「肩を叩いて」など、手の方向を変えてみる。
そして、その後「ありがとう」という言葉を伝える。この感謝の気持ちを伝えてもらった子どもは、とても嬉しいので「また肩叩きしよう」など良い行動へ変容することもあります。



この紙面では、伝えきれないほどたくさんの方のことを教えていただきました。特に印象に残っている言葉は、「学校での学びは、将来幸せになるためのもの。」です。

また、千住先生から絵本や本の紹介もしていただきました。絵が大きく言葉も少ない読み聞かせをしやすいもの、ほっこりと温かい気持ちになれるものもあります。図書館にも置いてありますので、ぜひ一緒に読んでいただけたらと思います。